

氏名	西村 凌	学校名	茨城県 つくば市立並木小学校
担当教科等	全教科	対象学年（人数）	第6学年2組（40名）
実践年月日もしくは期間（時数）		2021年11月～12月（2時間）	

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：総合的な学習の時間（つくばスタイル科）/学活		
2. 単元（活動）名：「SDGsとは何だろう」		
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「SDGsとは何だろう」～わたしたちにできることは～ 単元目標： <ul style="list-style-type: none"> SDGsの意義や17の目標について知り、目標を達成するために自分にもできることが多くあることを理解することができる。 SDGsにおける17の目標をもとに、自分の生活の中でどのようなことができるかを考え、表現することができる。 現在注目されているSDGsについて知り、自分ができることを継続して進んで行動していこうとする。 		
関連する学習指導要領上の目標： 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。（「小学校学習指導要領 総合的な学習の時間」2 目標の趣旨（1）） 目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定すること。（「小学校学習指導要領 総合的な学習の時間」3 各学校において定める目標及び内容の取扱い（5））		
4. 単元の 評価規準	① 知識及び技能	SDGsの意義や17の目標について知り、自分の生活の中にもSDGsの達成目標があることを理解している。
	② 思考力、判断力、表現力等	2030年にはどのような地球になってほしいのかをイメージし、そのために自分は何ができるのかを考え、その実践目標を表現している。
	③ 学びに向かう力、人間性等	SDGsについて正しく知り、自分ができることを実践し、継続して進んで行動しようとしている。
5. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、指導観）	<p>【単元設定の理由】 現在、様々なメディアが「SDGs」について取り上げ、そのための行動を起こそうと話題を投げかけている。しかし、多くの子供は、「SDGsとは一体どのようなものなのか」や「何をすべきなのか」ということについて疑問を抱えていると感じている。その中で、SDGsについて改めて理解し、自分が地球のためにできることを考えることを通して、それらが遠い国のことだけではなく、地球に住むすべての人々が達成すべき目標であり、自分事として捉えてほしいと考えた。</p> <p>【単元の意義】 総合的な学習の時間（つくばスタイル科）の「ストップ！地球温暖化」という単元において、地球温暖化の仕組みや二酸化炭素の排出を削減するために自分ができることを考え、夏休みに行動をした。その単元を発展させ、現在注目されているSDGsについて学習することで、地球に住む一員として達成すべき目標があることを理解させたい。また、自分の何気ない生活の中でも地球のためにできることは多くあるということに気づき、自分の生活を見つめ直してSDGsのために行動する意欲が高まることを期待したい。</p> <p>【児童／生徒観】 本学級の児童は、素直で明るく、のびのびと生活している。好奇心旺盛で自分の知らないことについて意欲的に知ろうという姿がある。自分の知っていることについて進んで発言し、全体に広めようとする積極性もあり、活発に学習することができる。1学期には、つくば市で行われている「SDGsシールコンテスト」に参加し、SDGsの達成目標について自分の思いをのせたシールを作成することができた。しかし、そのSDGsの達成すべき目標が日本や自分の周りのことではなく、発展途上国に住んでいる貧しい人々を救う目標であるととらえている。このような実態から、本</p>	

	<p>授業を通して、SDGsは、どこか遠い国のことではなく、地球に住むすべての人々が関係することであり、小学生である自分たちにもできることが多くあることに気づき、達成するために行動を起こしたいという意欲を高めてほしい。</p> <p>【指導観】 SDGsとはどのようなものなのかを学習することを通して、自分も達成すべき目標であることに気付くことを重要視していきたい。そのために、クイズを通して、地球や世界に住む人々がどのような状況に陥ってしまっているのかを知ってほしい。そして、そのような地球や人々を救うためにSDGsがあり、地球に住むすべての人々が2030年までに達成すべき目標であることを理解させたい。その目標の達成に向けて実践している企業や学校を見学した経験を伝えることで、SDGsが自分の何気ない生活の中でも潜んでいることに気づき、自分にもできることが多くあることを発見させたい。そのことから、自分のこれまでの生活を見つめ直し、自分には何ができるかを考え、それを実践しながらSDGsの意識をもった生活をしていくよさを感じてほしい。</p>
--	--

6. 単元計画（全2時間）				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1 本時	「SDGs とは何だろう」	SDGs の意義をし、自分ができるところを考え、目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> SDGs の意義を理解し、その目標について実践している企業の活動を知る。 自分ができるところを考え、目標をたてる。 	地球の現況に関するクイズ 有限会社ドンカメさん、エスコラ・オプションでの研修をまとめた資料
2	「自分のSDGsについて振り返ろう」	自分でたてた目標をもとに自分の実践を振り返り、これからの生活につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分がたてた目標について自分の生活を振り返る。 目標を加筆修正しながら、これからの生活につなげる。 	前時に書いたワークシート

7. 本時の展開（1時間目）			
本時のねらい： SDGs の意義や目標を実践している企業の実践方法を知ることを通して、自らが目標に対してできることを考え、問題発見力を高めることができる。			
過程時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (7分)	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">なぜ、SDGs は現在注目されているのだろうか。</div> <p>・SDGs とは何かについて考え、エクセルシートに記入し、他の友達とSDGsのイメージを共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGs について児童に自分が知っていることをエクセルシートに記入させ、クラス全体で交流させるようにする。 全体で交流することで、SDGs の今のイメージと授業後のイメージを比較できるようにする。 	パワーポイント① 【資料1】
展開 (30分)	<p>2 SDGs の意義について学習する。</p> <p>(1) 地球の現況についてのクイズを出し、現在の地球の問題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球についてのクイズを通して、現在の地球や地球に住む人々がどんな状況にあるかを理解させ、そのためにSDGsがあるということにつなげるようにする。 	

<p>まとめ (8分)</p>	<p>(2) 17の目標の意義を確認し、SDGsが地球にいるすべての人間が2030年までに達成すべき目標であることを理解する。</p> <p>3 SDGsの目標を達成するための実践を知り、自分にもできることを考えよう。</p> <p>① 生ごみを資源とした資源循環の実践をしている、有限会社ドンカメの取り組みやブラジルにルーツをもつ子供たちが通うエスコラ・オプションでの交流授業の様子を知る。</p> <p>② SDGの目標やその実践が自分の身の回りにあることを知る。2030年には地球がどのようになってほしいかを考えることを通して、自分ができることを考え、ワークシートに記述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>SDGsは、2030年までに達成すべき持続可能な開発目標であり、自分たちができることはたくさんある。</p> </div> <p>③ 記述したことをグループで交流する。</p> <p>○ 振り返り 本時で学習したことを振り返る。エクセルシートに書き込み、クラスで交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17の目標を黒板に掲示し、どのようなものがあるのかを確認させる。 ・ 研修で見学した有限会社ドンカメとエスコラ・オプションで経験できたことを伝え、実際にはどのような活動ができるのかを伝える。 ・ 教員が経験したことについて、それがSDGsのどの目標にあたるのかを考えさせ、自分の生活にもできることがあることの気付きを促す。 ・ はじめに「家でできること」と「学校でできること」の具体例を出すことで、考えることを方向づける。 ・ なかなか思いつかない児童にもヒントになるように、スライドを出したままにしておく。 ・ 自分が考えた実践すべきことをグループで交流し、実践意欲を高める。 ・ 今回の学習のまとめをし、SDGsの意義や自分たちにもその目標の達成のためにできることが多くあることを確かめさせる。 ・ 本時の学習の振り返りをし、次時の学習につなげる。 	<p>パワーポイント② 【資料2】</p> <p>パワーポイント③ 【資料3】</p> <p>ワークシート 【資料4】</p>
<p>8. 評価規準に基づく本時の評価方法</p> <p>グループワークの様子やワークシートの記述から、SDGsの意義や持続可能な開発目標を実践している企業の実践方法を知ることを通して、自らが目標に対してできることを考え、問題発見力を高めることができているかを見とる。</p>			

9. 学習方法及び外部との連携

本時の学習では、ICT を使用した授業づくりを意識した。授業者側では、授業の流れに沿ったパワーポイントでのスライドを作成し、児童が興味・関心をもって学習できるようにした。学習者側では、Teams によるエクセルシートの共有を図った。導入時と振り返りの時に自分の考えをエクセルシートに記入することで、簡単に友達の考えにも触れることができ、クラスでの交流ができるようにした。

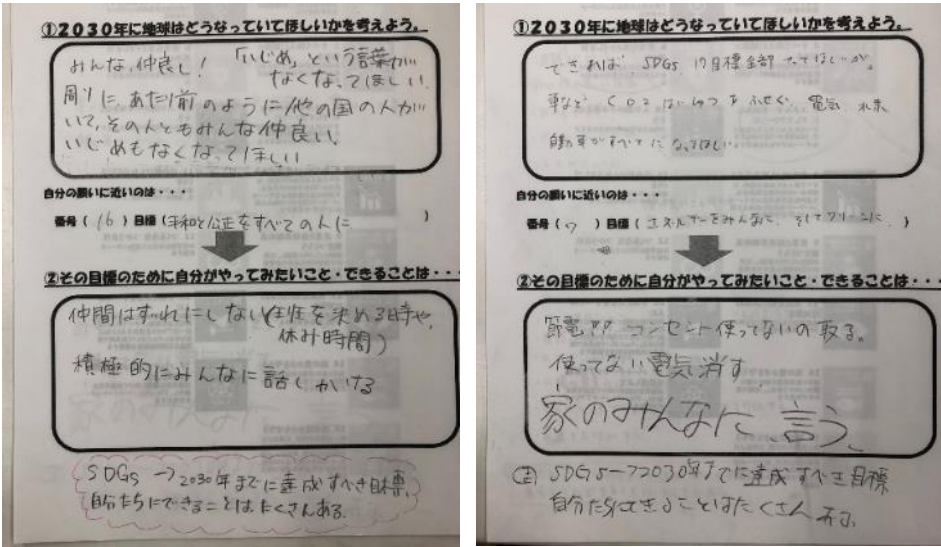
展開時に、有限会社ドンカメとエスコラ・オプションで研修したことを紹介し、SDGs の具体的な実践方法やどのような努力をしているかを伝えることを通して、自分たちの生活に SDGs が関わっていることに気付きを促すようにした。

10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組

本時の学習を公開授業として設定し、学校内の様々な先生方が授業見学をできるようにした。今回は自分の学級のみでの授業になってしまったが、これから SDGs について他学級・他学年の児童や先生方にも広めていきたいと考えている。

【自己評価】

11. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス拡大により、オンライン授業になってしまったことで夏休みに研修したことを伝えることや授業の実施が思った時期になかなか行うことができなかった。・ 授業を実施した時期の 6 学年の学習と今回の学習をうまく結びつけることが難しく、どのように関連させて授業を行っていくのが難しかった。
12. 改善点	<ul style="list-style-type: none">・ SDGs の目標を黒板に掲示したり、ワークシートに載せたりしたが、小学生には理解が難しい言葉が多く、児童にも理解しやすい言葉に変えて掲示をしたり、ワークシートに載せたりする必要があった。・ SDGs の意義や具体的な実践方法を理解したうえで、「自分には何ができるか」を考えさせたが、「世界平和」「核抑止」「お金を儲ける」などの現在の自分の生活と結びつけるにはやや難しい児童がいたので、「今から自分ができること」などある程度限定してより具体的に考えさせる必要があった。・ 自分が行いたいことについてうまく書き出せない児童がいたので、より具体的にヒントを出す必要があった。・ 導入時と振り返りのときにエクセルシートに記入させたが、うまく Teams が開かなかったり、エクセルシートに戸惑っていたりする児童がいたので、記入することに時間をとりすぎてしまい、交流する時間がうまくとれなかった。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none">・ 展開の最初にクイズをしたことで、本時の学習に対する意欲・関心を高めることができた。・ 授業者本人が経験したことを紹介したので、説得力を出しながら授業を進めることができた。・ SDGs とは、自分に関係のないことだと感じていた児童が多いようだったが、家や学校でできる具体的な実践例を提示したことで、自分の生活を見直したり、自分の生活の中でできることがあることに気付けたりすることができた児童がいた。

<p>14. 学びの軌跡 (児童/生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<p>ワークシートの記述</p>  <p>授業の振り返り</p> <p>今回の学習のふりかえりをしよう。わかったこと・気付いたこと・これから生かしたいことなどを振り返ってみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 力を合わせれば達成できるかもしれないということが分かった。 2 SDGsには様々な面での取り組みがあるので、2030年にはその目標を達成できるように、今から実践していきたいと思いました。 3 自分たちが気が付いていないだけでいろんなことをやっているということに気づいた 4 環境保全の為に地球温暖化防止のために実践したことを続けていきたい。 5 私たちの地球は水で出来ており、その1%でも大事な水ということが分かった。 6 SDGsとは2030年までに達成することで自分にもできるのがわかった。 7 2030年までに17の目標を達成するためには、必ず世界の一人一人ができることはあると分かった。 8 SDGsは難しそうに見えてもじつは、みんなの日々の協力によって成し遂げられるものであるということがわかった。 9 SDGsは自分で気づかないうちに達成していることに気付いた
<p>15. 授業者による自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs のことについては、授業者本人も知らないことが多くあった。しかし、教師国内研修に参加して経験できたことや学校に戻って授業づくりをしたことを通して、自分自身も SDGs への理解が深まるとともに、その実践意欲を高めることができたように感じる。児童に対しては、「SDGs」という言葉は知ってはいたが、自分事として考えられる機会を設けることができなかったのが、今回の授業実践を通してその意義や重要性を伝えることができた。 ・ 成果として見出すことがなかなか難しい授業ではあったが、児童の中で SDGs について考えるよいきっかけとなったように感じる。これからも随時振り返る時間などをとりながら、SDGs を意識した生活へ広げていきたい。

参考資料：

- ・ 「大人も知らない！？SDGs なぜなにクイズ図鑑」(2021)、笹谷秀光、宝島社


添付資料：【資料1】パワーポイント①

SDGsとは何だろう？



人間が使える水は地球の何%？

- 1 10%
- 2 1%
- 3 0.01%



「大人も知らない！？SDGをなぜならクイズ図鑑」（2021）、東島社

日本で1年に捨てられる食べ物の量はプール何個分？


- 1 約200個分
- 2 約2000個分
- 3 約2万個分



「大人も知らない！？SDGをなぜならクイズ図鑑」（2021）、東島社

日本人が1年に出す二酸化炭素の量は？

- 1 760グラム
- 2 760キログラム
- 3 7.6トン



「大人も知らない！？SDGをなぜならクイズ図鑑」（2021）、東島社

1年間に海に流れ出ているプラスチックの量は？

- 1 東京ドーム7杯分
- 2 プール3杯分
- 3 バケツ100杯分



「大人も知らない！？SDGをなぜならクイズ図鑑」（2021）、東島社

日本はSDGs達成度ランキングで何位？


- 1 1位
- 2 17位
- 3 31位









「大人も知らない！？SDGをなぜならクイズ図鑑」（2021）、東島社

【資料2】パワーポイント②

家では・・・

- ・見ていないテレビを消す  
- ・水やシャワーを出しっぱなしにしない 
- ・マイバッグを使う  

学校では・・・

- ・給食を残さない  
- ・えんぴつや消しゴムなどの文具を最後まで使う 
- ・友達を仲間外れにしない  
- ・外国人の友達をもつ：「やさしいにほんご」で話す 


【資料3】パワーポイント③

有限会社ドンカメ さんの実践
「ごみを宝に！」
生ごみをたい肥にし、農作物を育て、食べて・・・



エスコーラ・オプション さんでの実践授業
ブラジルにルーツをもつ子どもが通う学校



	名前 ()	
わたしの SDGs (持続可能な開発目標) は・・・		
①2030年に地球はどうなっていてほしいかを考えよう。		
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; height: 120px;"></div>		
自分の願いに近いのは・・・		
番号 ()	目標 ()	
		
②その目標のために自分がやってみたいこと・できることを考えよう。		
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; height: 120px;"></div>		
をがんばります!		